



776号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港
福会館 5 階

Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622

メール roren@kensu.jp

ホームページ http://www.kensu.jp/

全国検数労働組合連合

書記局



7月3日(水) 第6回 検数労連24夏季一時金交渉 10:00~10:30 全ての地域から『批准』『一任』を受け、妥結を表明。 支給日は7月10日(水)を確認。

《各地域から出された主な意見》

【全日検(評価点)】

- ・昨夏比乗率0.005ヶ月アップ。
- ・昨夏比プラス回答。

【全日検(不満点)】

- ・要求との関係では低額。
- ・家族・地域年齢・都市加算の無い回答。
- ・生活を守ることができない不十分な回答。
- ・経営責任を組合員に押し付ける経営姿勢。
- ・調整加算の格差回答。

【日検協会(評価点)】

- ・昨夏比プラス回答。
- ・昨夏比乗率0.1ヶ月プラス。
- ・安定した一時金の構築。
- ・都市加算満額回答。
- ・港湾の軍事利用の労使一致した考え方。

【日検協会(不満点)】

- ・業績加算による支部間格差回答。
- ・要求との関係では未達。
- ・経営責任を組合員に転嫁させる姿勢。
- ・物価高騰に見合わない回答額。
- ・業績格差の細分化。

【今後課題】

- ・地域間格差根絶。業績の原資を乗率に移行させる取り組みの強化が求められる。
- ・円安・インフレは当面続くことが予想されることから、組合員の生活を守ることを第一に闘争を展開すること。
- ・要求の具現化となるような見直しや追求した交渉が求められる。
- ・組合が策定している都市加算の増額議論が必要。
- ・今後も業績加算には断固反対し、廃止及び圧縮を強く求めていく。
- ・業績加算の弊害を経営に理解させるようなたたかいの構築が求められる。
- ・格差回答解消に向けた粘り強い交渉が求められる。

【態度表明】
夏季一時金闘争の妥結の態度表明にあたり、全地域からの確認を受け、夏季一時金闘争については要求との関係で不満は残るものの現到達をもって『妥結』を表明する。

は、一時金原資を近年になく積み増した対応、全日検、日検の昨夏比乗率の上積み、日検の都市調整加算の満額回答は評価できる回答となった。しかし、要求算式に沿った回答になっていない点、特にアルファ回答については、地域間格差が拡大しつつあることに大きな不満を残した。また、支給条件や諸要求、港湾を軍事利用しないことについても理解が得られなく不満を残す結果となった。

事への憤懣やかたない怒りの声が全地域から出された。検数労連はアルファ回答である『全日検の調整加算』『日検の業績加算』については、経営責任を職場に押し付け、これまでの職場の努力を無にする『差別回答』であることを強調する。引き続き、生活防衛闘争と位置付けて、賃上げ闘争につなげていくこととする。

今後、物流情勢の変化に伴う検数事業の対応力が求められる。特にイレギュラーな状況に陥った際、スピーディーかつ柔軟に対応すべく労使共通認識が極めて重要となる。引き続き、組合は諸物価高騰に見合う『安定した一時金』を第一に掲げながら検数事業の基盤強化に向けた情報収集の共有化に努め『料金収受』の確保に全力を上げて取り組みをすすめていくこととする。

以上

各地域闘争委員会の皆様

24夏季一時金闘争お疲れ様でした。

今夏季一時金を踏まえた一年間の運動の全体的な議論と総括を検数労連定期全国大会で行い、また団結して次年度の運動に繋げていきましょう。